

# KLAUDI*O*

## クラウディオ 新製品発売のご案内

お客様各位

拝啓 時下ますますご清勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2017年の発売以来、アナログ再生の理想とも言えるトレース方式とその画期的な構造から生まれる秀逸なサウンドが大変好評を頂いております、ピボット式リニアトラッキング・アナログ・トーンアーム「ARM-MP12 Mk II (12インチ)」と「ARM-MP10 Mk II (10インチ)」。この度、基本コンセプトは従来モデルのまま、オートリフター機能を追加した『ARM-AP12 (12インチ)』と『ARM-AP10 (10インチ)』を発売いたします事をご案内申し上げます。また、従来モデルをご使用のユーザー様には新製品と同等仕様へのアップグレードサービスもご用意しております。

つきましては添付の資料をご高覧賜り、ご試聴、ご検討いただければ幸いです。

敬具

記

■ブランド名	KLAUDI <i>O</i> (クラウディオ/アメリカ)
■製品名	ピボット式リニアトラッキング・アナログ・トーンアーム
■機種名	ARM-AP12 (12インチ) ARM-AP10 (10インチ)
■希望小売価格	1,480,000円 (税別)
■発売日	2020年9月4日

以上

## ■画期的なクラウドイオ・トーンアームの進化形

KLAUDI*O*（クラウドイオ社／アメリカ）が開発したトーンアーム **ARM-MP12/MP10**（既発売）は、ピボット式トーンアームでありながらリニアトラッキング動作という斬新な方式を実現した、画期的であり最も理想的なトーンアームとして好評をいただいております。

マスタリングされた音源が最初にラッカー盤に音溝として刻まれる際、レコードカッティングマシンは盤の外周から内周へ、リニア（直線）に音溝を刻みます。つまりクラウドイオのトーンアームはカッティングと同様リニアなトレースを再生時にも行うことで、最も理想的で正確なアナログ再生が可能なのです。

従来のリニアトラッキング式アームでは電子制御モーター駆動やエアーポンプ・スライド式などを用いた複雑で繊細な制御が必要な製品が主流であったこと、ターンテーブルと一体になった専用設計であり製品選択の自由度が少なかったこと、セッティングのわずかなズレによって大きなエラーを起こす可能性など様々な問題が指摘されていました。

一方ピボット式のスタティックバランス・トーンアームは、トーンアームの支点を中心にスイングし、針先が弧を描くようにレコード盤をトレースします。音溝方向に対するアームのスイング角が随時変わるために発生する「ズレ」がトラッキングエラー角となり、正確に音溝の左右をトレースすることができません。そのため所謂オーバーハング・ポジショニングで補正を行う事でトラッキングエラー率を抑えています。

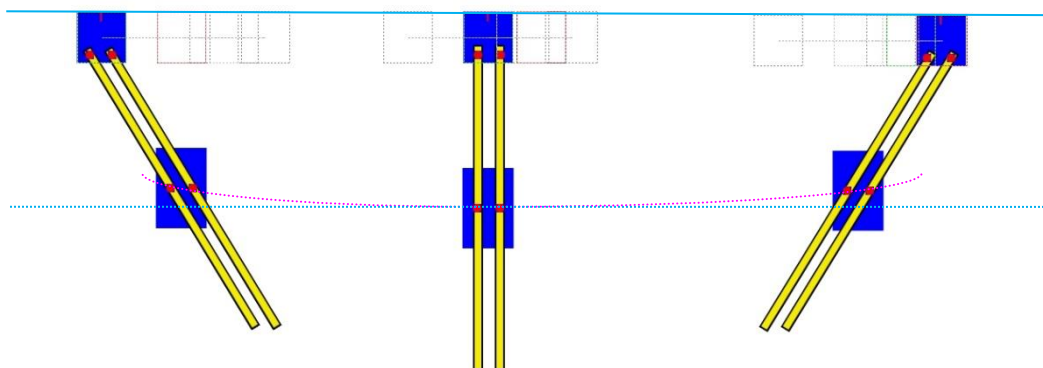
クラウドイオのトーンアームはリニアトラッキング式、ピボット式それぞれのトーンアームのデメリットを解消し、双方のメリットを有効に活かした革新的なトーンアームです。リニアトラッキング方式でありながら従来のリニアトラッキング式アームにありがちな取り付けや設定の複雑さを軽減し、1ピボット式トーンアームの特長である様々なターンテーブルへの設置の簡便さを併せ持つという、まさに究極で理想的な方式と言えます。

そしてこの度、基本設計はそのままに、一層快適な操作性を実現する「オートリフター機能」を追加した、“**ARM-AP12**”と“**ARM-AP10**”を発売いたします。

また、従来の“**ARM-MP12 / MP10**”をご愛用のユーザー様へは、“**ARM-AP12 / AP10**”仕様へアップグレードが可能なキットメニューもご用意しております。

## 【リニアトラッキング動作図解と構造】

クラウディオ・トーンアームには一般的なスイングアームの支点にあたる部分とヘッドシェル部に計2点のピボットが設けられています。その2点がスイングに連動しながら滑らかに連携動作をすることで針先は完璧なリニアトラッキングを実現します。

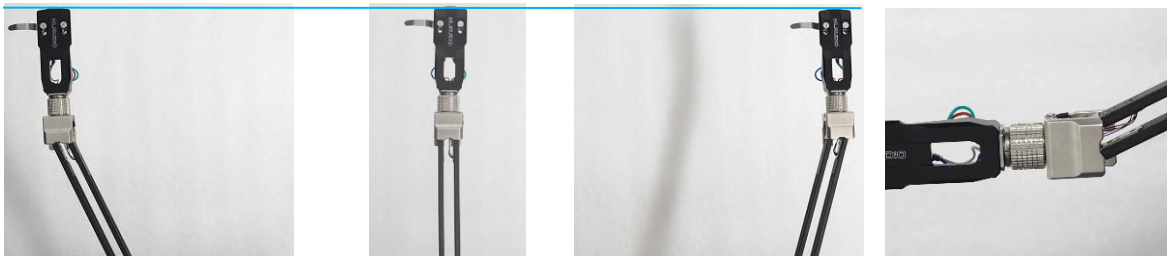


動作イメージ：外周部～中央部～内周部

ピボットの載るベース部が徐々に後方へ移動し、リニアを維持します。

その後、ベース部が徐々に前方へ移動、ピボット自体も一体となり前方に移動します。

### ・ヘッドシェル部



針先はヘッドシェルの角度変化で音溝に対して常にリニア状態を維持したまま平行移動します。

### ・ベース部



前後に動くピボットベースには精密な極小ベアリングが内蔵されており、滑らかで繊細な動作を可能としています。

【製品詳細】

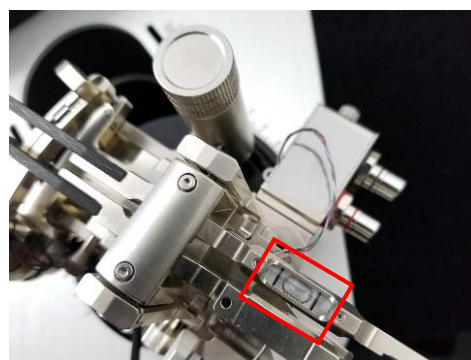
・アーム部

軽量で剛性に優れた2本のカーボンファイバー製のアーム。アーム部を2本とすることで十分な強度を保ちながら軽量化を実現、安定したリニアトラッキングを発揮します。



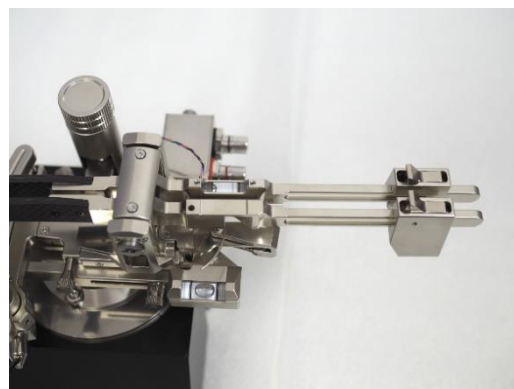
・VTA (高さ) 調整部

VTA (高さ調整) は、つまみ (黄色枠) を回すことで、演奏中でも調整することができます。アーム部に水準器 (赤枠) が仕込まれており、レコード盤の厚みやカートリッジの高さに合わせての水平調整などの微調整が簡単に行えます。



・カウンターウェイト部

様々なヘッドシェルやカートリッジに適應するため、メインウェイト、サブウェイトの両方が付属されています。スタティック・バランス調整にて針圧をかけます。



・充実したセッティング・ツール

- マウンティングガイド・ツール：取り付け穴位置を正確に導きます。
- アライメント・ツール：アーム部の高さ、角度、針先位置の調整に使用します。



マウンティングガイド・ツール



アライメント・ツール

リニアトラッキングを実現するために精度の高いセッティング・ツールが付属されており、簡単に設置をする事が可能です。またご使用のアナログ・ターンテーブルに穴あけ加工が出来ない場合は、オプションにて自立型アームベースをご用意しています。

・レーザー・タンジェント・ツール

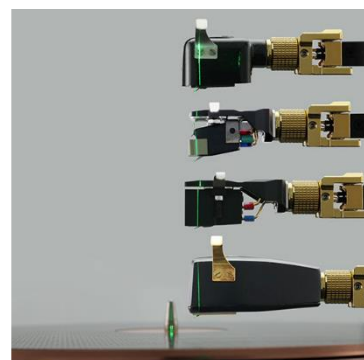
針先の位置調整は、リフターのUP/DOWNスイッチも兼ね備えたレーザー・タンジェント・ツールを使用します。正確な針先位置では、リニアトラッキング・ラインに照射されたレーザー光でスタイラスチップが点として光るので、目視での位置設定がとても簡単です。

また高さのあるプラッターにも対応ができるよう、ツールは最大 26mm までの高さ調整と角度調整も可能です。更に設置スペースが確保し難い場合にも対応可能な自立型レーザーベースもオプションでご用意しています。



リフター・スイッチ機能付  
レーザー・タンジェント・ツール

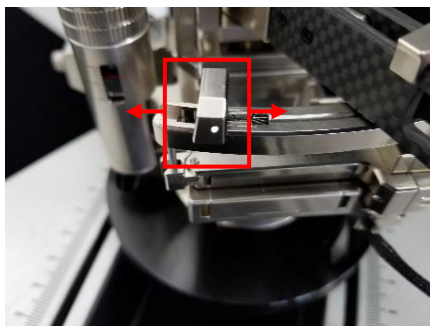
ユニヴァーサル・タイプのヘッドシェル交換に対応しているため、カートリッジ交換は簡便です。交換後も、レーザー・タンジェント・ツールにより針先位置を決めることで、非常に簡単な再設置が可能です。右図の様に、一般的なトーンアームでは装着にアダプターが必要な短いヘッドシェルにもダイレクト装着が可能であるなど、多彩なカートリッジをお楽しみいただけます。



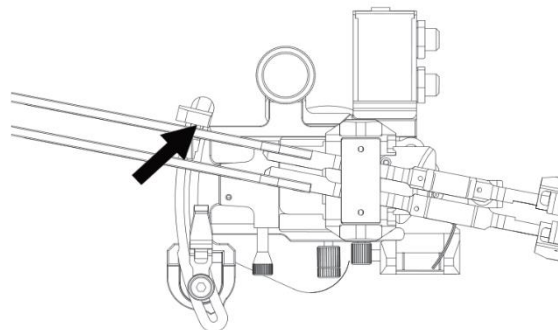
【オートリフターモデル AP12、AP10 の特長】

① オートリフト機能

APモデルのアームレストに新たに搭載されたオートリフト機能。演奏開始はワンタッチです。また、トーンアームが赤枠のセンサーに一定距離近づくと、自動的にアームレストが上がります。レコード再生終了時のアームレストの上げ忘れを解消します。またこのセンサーは内周側、外周側に移動させることが可能であり、SP盤やEP盤、LP盤、それぞれのレコードの最内周の位置に合わせた微調整が可能です。



センサー部



矢印の位置までアームが移動すると、アームレストが自動的に上がります。

② リフター・スイッチ

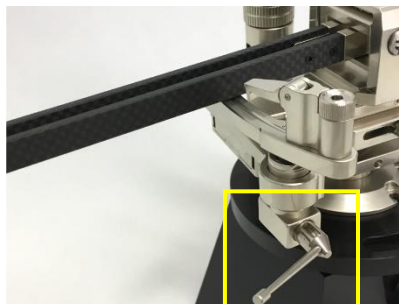
ARM-AP12、ARM-AP10にはリフター・レバーはありません。その代わりにレーザー・タンジェント・ツールにリフター・スイッチが搭載されました。トーンアーム部には触れることなく、非常に滑らかな動きでリフターを上下する事が可能です。



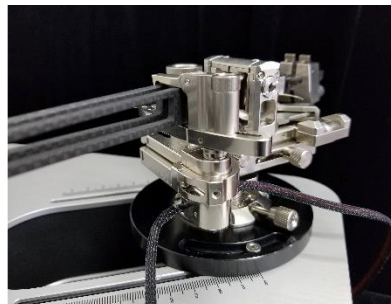
ARM-MP12 Mk II  
ARM-MP10 Mk II  
レーザー・タンジェント・ツール



ARM-AP12  
ARM-AP10  
レーザー・タンジェント・ツール



ARM-MP12 Mk II  
アームレスト部  
リフター・レバー (黄枠)



ARM-AP12  
アームレスト部

**【製品仕様】**

取付穴位置	ARM-AP12 : 298mm <sup>※1</sup> ARM-AP10 : 250mm <sup>※1</sup> <small>※1 スピンドル中心～取付穴中心まで ※2 ARM-AP12 と ARM-AP10 の違いは、トーンアーム取付位置(スピンドル中心～取付穴中心までの距離)の違いのみで、本体構造やアーム長は同一のものです。</small>
取付穴径	29mm φ (ARM-AP12 / ARM-AP10 共通)
アーム自重	ARM-AP12 Mk II : 820g ARM-AP10 Mk II : 820g
付属品	専用フライトケース アラインメントツール(設置治具) レーザー・タンジェント・ツール マウンティングガイド・ツール ヘッドシエル (リードケーブル付き) 2個 アジマスツール

**【製品アップグレードについて】**

既発売の「ARM-MP12Mk II」、「ARM-MP10Mk II」のリフター部を、新製品のオートリフター仕様へのアップグレードする有償サービスです。

- 「ARM-MP12Mk II」 「ARM-MP10Mk II」 共通  
「ARM-AP12」、「ARM-AP10」仕様へのアップグレード：¥400,000 (税別)

※アップグレード費用に部品代/工賃が含まれています。

別売：オプション

■自立型アームベース：BAS-ARM01 ¥74,000（税別）



- ・アームボードに穴を開けることが不可能なターンテーブルをお使いの方
- ・ターンテーブルの適切な位置にアームボードを設置できない場合

アーム取付時において上記のような場合でも、様々なターンテーブルで KLAUDI*O* トーンアームをご使用いただける別売オプションです。

単体で 2.8kg の重量をもちトーンアームを確実に保持します。アームベース本体は「POM（ポリオキシメチレン）」を使用しており高い耐摩耗性と強度を兼ね備え、内部損失の高い素材なため設置場所からの微細な振動をキャンセルします。シャフトを収納するシリンダー部にはメッキ処理を施した真鍮を使用しています。

■自立型レーザーベース：BAS-ARM02 ¥95,000（税別）

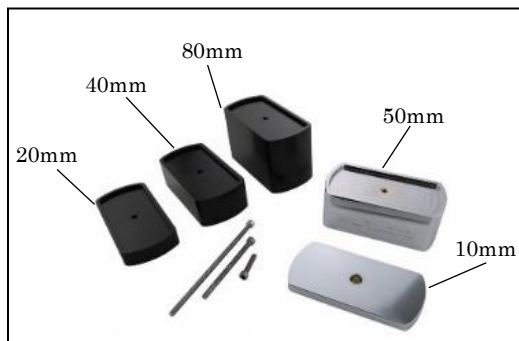


- ・ターンテーブル上にレーザー・タンジェント・ツールを置くスペースを確保できない機器をお使いの場合、ラックに当ベースを設置する事でレーザー・ツールの常設を可能とします。

BAS-ARM02 の高さは、60～200mm の間を 20mm 間隔で調整できます。主な材料は真鍮と POM で、総重量は最大 9.6 kg。BAS-ARM02 の底面には滑り止めが付いており、さらに天面には磁性あります。レーザー・タンジェント・ツールの底面には磁石が付いており、一度位置決めをしたレーザー・タンジェント・ツールがずれないように固定し、より安定したカートリッジ交換後の針先位置調整が可能です。



取り付け例



分解図